

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

|         |                           |
|---------|---------------------------|
| 研究課題番号  | 3G-2201                   |
| 研究課題名   | ごみの排出・収集時における感染防止対策に関する研究 |
| 研究実施期間  | 2022（令和4）年度～2024（令和6）年度   |
| 研究代表機関名 | 国立環境研究所                   |
| 研究代表者名  | 山田 正人                     |

1．評価結果

評価ランク：A

2．委員の指摘及び提言概要

廃棄物の収集運搬作業において、ごみ袋への唾液の付着や車中での会話が主な感染経路であることを実証的・科学的に明らかにしている。実際のごみ収集作業において新型コロナウイルスによる感染が起こる可能性がある場面をそれぞれ設定し、状況に応じたリスクの評価と感染防止対策を表にまとめて提示したことは、労働衛生施策上極めて重要な研究成果であると考えられる。また、リスクアセスメント表をはじめとした本研究成果は、今後 COVID-19 以外の新たな感染症が流行した場合においても廃棄物収集時における感染症予防対策として寄与しうるものと期待される。一方で、アミラーゼ活性値を唾液マーカーとして判定するキットの実用化に関しては、定量的根拠をもう少し明確にした上で運用の有効性を示す必要があると考えられるほか、論文発表などを通じてこれまでの研究成果を公表することが求められている。